02.01.08.002.01（企業誘致等推進事業）

企画課

働き方セミナー等企画書

Ⅰ　事業の概要

１．背景及び目的

本市は東京まで電車で 1 時間の通勤圏に位置する住宅都市であるが、結婚や出産を機に東京や横浜への勤務が困難となり、退職をしている女性が多くいる。また、当市には、企業が少なく、働く場所が乏しいことが課題となっている。

この２つの課題を解決するために、女性が子供を連れて働くことのできる環境を創出できる企業の誘致をめざし、新たな働き方と企業誘致を実現させるための第一歩となるよう、市民ニーズに応えるための新たな働き方セミナー等を実施することを目的とする。

２．対象

本市の在住者で、子育て世代の女性を主な対象とする。また、本市への進出を検討している企業等

３．手段

（１）女性のための就業セミナーの実施

（２）女性のための就業セミナー＆企業説明会の実施

（３）女性のためのインターンシップの実施

Ⅱ　女性のための就業セミナーの実施

１．開催時期：令和２年１０月頃。想定する参加者層に応じて、効果的な開催日時の設定を行う（１時間３０分から２時間を想定）。

２．開催場所：市役所会議室。新型コロナウイルス感染症拡大防止等の措置が必要な場合はオンラインにて開催することも想定している。

３．定員：１５名

４．内容：自身の強みと弱みを認識し、逗子市で自分らしく働くことを実現させたいと思うきっかけとなるセミナーを開催する。子供と一緒に参加できるよう託児サービスを提供する。また、参加者アンケート等を実施する。

Ⅲ　女性のための就業セミナー＆企業説明会の実施

１．開催時期：令和２年１１月頃。想定する参加者層に応じて、効果的な開催日時の設定を行う（２時間から２時間３０分を想定）。
２．開催場所：市役所会議室。新型コロナウイルス感染症拡大防止等の措置が必要な場合はオンラインにて開催することも想定している。
３．定員：１５名
４．内容：企業ニーズの高い職種とは何か、その職種に必要なスキルとは何か。仕事に関して理解を深め、学ぶ意欲とチャレンジの後押しができるセミナーを開催する。子供と一緒に参加できるよう託児サービスを提供する。また、参加者アンケート等を実施する。
５．その他：参加企業にはplatform ZUSHI BIZ参加事業者も活用する

Ⅳ　女性のためのインターンシップの実施

１．開催時期：令和３年１月頃。想定する参加者層に応じて、効果的な開催日時の設定を行う（１時間３０分から２時間を想定）。
２．開催場所：インターンシップを経験できる場所。
３．定員：１５名
４．内容：新たな一歩を後押しするため、実際に仕事体験をするインターンシップを開催する。子供と一緒に参加できるよう託児サービスを提供する。また、参加者アンケート等を実施する。

Ⅴ　予算

委託料　700千円
　特定財源：地方創生推進交付金（350千円）
　　県市町村自治基盤強化総合補助金（116千円）
　一般財源：234千円

（様式第１号の１）一般事業用

31 逗企発第 58 号
2020 年（令和２年）１月 16 日

一般財団法人地域活性化センター
理事長　椎川　忍　殿

（神奈川県）
逗子市長　桐ケ谷　　覚　印

令和２年度　移住・定住・交流推進支援事業助成申請書

標記の件について、下記のとおり申請いたします。

記

1　助成対象事業の概要

事　　業　　名	逗子まるごとアクティビティプロジェクト
事業の実施主体	一般社団法人 Regional Sports ※協議会の場合はその構成員（予定を含む）を全て記載すること
事業の実施予定時期	令和２年４月１日　　～　令和２年 11 月 30 日
事業の趣旨・目的	逗子には、海、山、川などの美しい自然があり、また、自然だけではなく、歴史や街並み、美味しい飲食店など、魅力にあふれる街、それが「逗子」である。そこで、その魅力を最大限にコンテンツ化し、地域住民、既移住者、移住検討者の 3 者のコミュニケーション向上が期待できるオリジナルイベント「Regional Running」を逗子で初開催し、より多くの方に逗子に遊びに来ていただくことに併せて、逗子の魅力あるアクティビティイベントを掲載し、いつでも気軽に逗子に来てもらうきっかけづくりとなるウェブサイトを構築するプロジェクトを始動させる。イベント開催とウェブサイト構築の両輪で進めることにより、イベント時の一度だけではなく、何度も逗子に来てもらうことで関係人口を増やしていくことが可能となる。また、イベント終了後に交流会を開催し、交流会会場に移住相談ブースを設け、逗子市と連携して移住者の相談を受け付ける。それにより、高齢化率の高い逗子市へ若者世代の移住・定住者を増やしていくことを最大の目的とする。

事　業　の　概　要	(1)事業内容（継続的推進のための仕組み、事業内容を具体的に記載） 「逗子まるごとアクティビティプロジェクト」として、逗子の魅力を最大限活かし、関係人口の増加及び、移住・定住の増加を促進するために次の事業を実施する。 （A）逗子の魅力を再発見！ランニングイベント「Regional Running 逗子」の開催 地域住民、既移住者、移住検討者の3者から構成される、2～4名を1チームとして、逗子の歴史スポットや魅力あるお店のスポット情報をクイズ形式にして出題し、その解答を走り回って探すレクリエーションランニング。 「歩数ポイント」とクイズの解答数に応じた「スポットポイント」の合算で競う。スポットポイントの比重が大きいため、体力がある人が有利と言うわけでは決してなく、チームプレイが求められるので、老若男女が一緒に楽しめるのも特徴。また、イベント終了後に交流会を開催し、地域で事業展開している飲食店、特に既移住者が運営している飲食店に協力してもらい、地域住民、既移住者、移住検討者の交流促進を図る。 【予定概要】 開催日：2019年11月上旬、参加予定人数：200名、参加費：2,000円/1名 募集開始：7月上旬 （B）「逗子アクティビティマップ」（ウェブサイト）の作成 逗子で開催されるアクティビティイベントを紹介するウェブサイト。また、それに付随して、地域で活動するアクティビティ団体や事業者の紹介も行う。併せて、移住検討者向けの相談窓口を設置し、市と連携して移住希望者のニーズに対応する。作成は既移住者のデザイナーやウェブディレクター、エンジニアでチームを構成する。また、プロモーションための各種SNS(Facebook、twitter、Instagramなど）も運用し、逗子に興味がある方が何度も足を運びたくなるような施策を打っていく。 (2)事業後の展望 （A）逗子の魅力を再発見！ランニングイベント「Regional Running 逗子」 令和2年度のイベントに関しての目標集客数は200名。参加者からは「参加費」をいただき、開催費用として充当していく。また、毎年継続開催、年複数回開催していくことにより、徐々に参加者数を増やしていき、持続可能なイベント運営を目指していく。 （B）「逗子アクティビティマップ」（ウェブサイト） アクティビティが好き→逗子でのアクティビティに興味ある→逗子に移住したいという流れができてくることが理想であると考える。そのために全国にいるアクティビティ好きな方々に逗子のアクティビティを紹介していくことで、まずは逗子に来ていただけるようにしていくことが重要である。 当面は「Regional Running 逗子」の集客ツールとして使用がメインだが、 下記3つの目的で運営していく。 ①　「Regional Running 逗子」の集客ツールとして

	② 逗子で開催されるあらゆるアクティビティイベントの紹介ツールとして ③ 上記のアクティビティイベントに興味があり、かつ、移住検討者が相談できる窓口を設置し、市と連携し移住・定住者を増やしていくため 今後は広告掲載料やアクティビティ事業者から誘客手数料をいただくことにより、持続的に運用していく ことを検討している。この事業をきっかけに「逗子」を広く巻き込んだうねりを創発していきたい。

2　助成申請額

２，０００千円

3　添付書類

○　事業実施主体が市町村等の場合

(1) 助成対象事業の内容を記した企画書、予定表、その他参考資料

(2) 別紙①

(3) 市町村等の歳入歳出予算書のうち助成対象事業に関する部分の写し又は予算計上の手続をとる旨の確約書等

○　事業実施主体が地域団体等の場合

(1) 助成対象事業の内容を記した企画書、予定表、その他参考資料

(2) 地域団体等の活動内容及び構成員（予定を含む）を示す資料

(3) 別紙②

(4) 市町村等の歳入歳出予算書のうち助成対象事業に関する部分の写し又は予算計上の手続をとる旨の確約書等

（参考）事務担当者（市町村等の担当者をご記入願います。）

所属・職・氏名	逗子市経営企画部企画課企画係　主任　金子未来
連　絡　先	TEL：046-873-1111（内線 311）FAX：046-873-4520
	E-mail：kikaku@city.zushi.lg.jp

※　事業概要については、事業採択の場合、当センターホームページに掲載します。

別紙②（団体用）

団体名　一般社団法人 Regional Sports

（単位：円）

収入		
項目	予算額	備考
都道府県補助金	0	
市町村等補助金	2,000,000	内センター助成金　2,000,000円
寄付金・その他収入	400,000	参加費(2,000円×200名)　400,000円
自主財源		
合計	2,400,000	

支出		
項目	予算額	内訳説明
報償費	500,000	運営費、ディレクション費、人件費
旅費		
需用費	520,000	消耗品費、印刷製本費、食糧費
役務費	480,000	広告料、損害保険料
委託料	800,000	デザイン費、サイト制作費
使用料及び賃借料	100,000	会場借上料
工事請負費		
備品購入費		
合計	2,400,000	

※１　項目は必要に応じて変更してください。

※２　ひとつの項目内に助成対象外の経費を含む場合は、内訳等を明記してください。

※３　原則として、委託料、備品購入費及び工事請負費の合計額が助成申請額の３分の２を超えないこととします。また、原則として、委託料、備品購入費又は工事請負費のいずれかの額が助成申請額の２分の１を超えないこととします。

第　号
収　-2. 4. 13　受
逗　子　市

第１号様式

補　助　金　交　付　要　望　書

2020年　4月　13日

逗子市長

住所又は所在地　神奈川県逗子市逗子一丁目6番27号402

団　　体　　名　一般社団法人Regional Sports

氏名又は代表者名　加藤　慶

令和 2 年度において次の事業(活動)を行いたいので、逗子市の補助金の交付要望及び予算の執行に関する規則第３条の規定により補助金の交付を要望します。

事業(活動)の名称	逗子まるごとアクティビティプロジェクト
事業(活動)の目的及び内容 逗子には、海、山、川などの美しい自然があり、また、自然だけではなく、歴史や街並み、美味しい飲食店など、魅力にあふれる街、それが「逗子」である。そこで、その魅力を最大限にコンテンツ化し、地域住民、既移住者、移住検討者の３者のコミュニケーション向上が期待できるオリジナルイベント「Regional Running」を逗子で初開催し、より多くの方に逗子に遊びに来ていただくことに併せて、逗子の魅力あるアクティビティイベントを掲載し、いつでも気軽に逗子に来てもらうきっかけづくりとなるウェブサイトを構築するプロジェクトを始動させる。イベント開催とウェブサイト構築の両輪で進めることにより、イベント時の一度だけではなく、何度も逗子に来てもらうことで関係人口を増やしていくことが可能となる。また、イベント終了後に交流会を開催し、交流会会場に移住相談ブースを設け、逗子市と連携して移住者の相談を受け付ける。それにより、高齢化率の高い逗子市へ若者世代の移住・定住者を増やしていくことを最大の目的とする。	
交　付　要　望　額	2,000 千円
交付要望額算出の基礎　別添「事業計画書及び収支予算書」のとおり	

事業(活動)費額		2,400 千円	添付書類	□　事業計画書 □　収支予算書 □ □
財源	自己財源	400 千円		
	その他財源			
	交付要望額	2,000 千円		

令和2年度　逗子まるごとアクティビティプロジェクト事業計画書及び収支予算書

1　事業名　　逗子まるごとアクティビティプロジェクト

2　実施主体　　一般社団法人Regional Sports

3　実施期間　　令和2年4月1日から令和2年11月30日

4　主旨・目的

逗子には、海、山、川などの美しい自然があり、また、自然だけではなく、歴史や街並み、美味しい飲食店など、魅力にあふれる街、それが「逗子」である。
そこで、その魅力を最大限にコンテンツ化し、地域住民、既移住者、移住検討者の3者のコミュニケーション向上が期待できるオリジナルイベント「Regional Running」を逗子で初開催し、より多くの方に逗子に遊びに来ていただくことに併せて、逗子の魅力あるアクティビティイベントを掲載し、いつでも気軽に逗子に来てもらうきっかけづくりとなるウェブサイトを構築するプロジェクトを始動させる。イベント開催とウェブサイト構築の両輪で進めることにより、イベント時の一度だけではなく、何度も逗子に来てもらうことで関係人口を増やしていくことが可能となる。また、イベント終了後に交流会を開催し、交流会会場に移住相談ブースを設け、逗子市と連携して移住者の相談を受け付ける。
それにより、高齢化率の高い逗子市へ若者世代の移住・定住者を増やしていくことを最大の目的とする。

5　事業の概要

（１）事業内容

「逗子まるごとアクティビティプロジェクト」として、逗子の魅力を最大限活かし、関係人口の増加及び、移住・定住の増加を促進するために次の事業を実施する。

（A）逗子の魅力を再発見！ランニングイベント「Regional Running 逗子」の開催

地域住民、既移住者、移住検討者の3者から構成される、2～4名を1チームとして、逗子の歴史スポットや魅力あるお店のスポット情報をクイズ形式にして出題し、その解答を走り回って探すレクリエーションランニング。
「歩数ポイント」とクイズの解答数に応じた「スポットポイント」の合算で競う。スポットポイントの比重が大きいため、体力がある人が有利と言うわけでは決してなく、チームプレイが求められるので、老若男女が一緒に楽しめるのも特徴。
また、イベント終了後に交流会を開催し、地域で事業展開している飲食店、特に既移住者が運営している飲食店に協力してもらい、地域住民、既移住者、移住検討者の交流促進を図る。

【予定概要】
開催日：2019年11月上旬、参加予定人数：200名、参加費：2,000円/1名
募集開始：7月上旬

（B）「逗子アクティビティマップ」（ウェブサイト）の作成

逗子で開催されるアクティビティイベントを紹介するウェブサイト。また、それに付随して、地域で活動するアクティビティ団体や事業者の紹介も行う。
併せて、移住検討者向けの相談窓口を設置し、市と連携して移住希望者のニーズに対応する。作成は既移住者のデザイナーやウェブディレクター、エンジニアでチーム
を構成する。また、プロモーションための各種SNS（Facebook、twitter、Instagramなど）も運用し、逗子に興味がある方が何度も足を運びたくなるような施策を打っていく。

（２）事業後の展望

（A）逗子の魅力を再発見！ランニングイベント「Regional Running 逗子」

令和2年度のイベントに関しての目標集客数は200名。参加者からは「参加費」をいただき、開催費用として充当していく。また、毎年継続開催、年複数回開催していくことにより、徐々に参加者数を増やしていき、持続可能なイベント運営を目指していく。

（B）「逗子アクティビティマップ」（ウェブサイト）

アクティビティが好き→逗子でのアクティビティに興味ある→逗子に移住したいという流れができてくることが理想であると考える。そのために全国にいるアクティビティ好きな方々に逗子のアクティビティを紹介していくことで、まずは逗子に来ていただけるようにしていくことが重要である。

当面は「Regional Running 逗子」の集客ツールとして使用がメインだが、下記3つの目的で運営していく。

① 「Regional Running 逗子」の集客ツールとして

② 逗子で開催されるあらゆるアクティビティイベントの紹介ツールとして

③ 上記のアクティビティイベントに興味があり、かつ、移住検討者が相談できる窓口を設置し、市と連携し移住・定住者を増やしていくため

今後は広告掲載料やアクティビティ事業者から誘客手数料をいただくことにより、持続的に運用していくことを検討している。この事業をきっかけに「逗子」を広く巻き込んだうねりを創発していきたい。

6　収支予算

収入

項目	予算額	備考（内訳）
市町村等補助金	2,000,000円	内センター補助金 2,000,000円
寄付金・その他収入	400,000円	参加費（2,000円×200名）
合計	2,400,000円	

支出

項目	予算額	備考（内訳）
報酬費	500,000円	運営費 250,000円（50,000円×1名×5ヶ月） ※申込者対応、ウェブサイト・SNS更新など ディレクション費 150,000円（50,000円×3名） ※プログラム設計、ロケハン、イベント資料作成など 当日人件費 100,000円（5,000円×20名） ※当日運営全般、参加者対応補助など
需用費	520,000円	消耗品費 460,000円 ※Tシャツ、参加賞、バナー・のぼりなどのグッズなど 印刷製本費 20,000円 ※告知チラシなど 食糧費 40,000円 ※参加者の飲食として
役務費	480,000円	広告料 460,000円 ※ウェブサイト及び紙面広告、SNS広告など 損害保険料 20,000円
委託料	800,000円	デザイン費 300,000円 ※ウェブデザイン、Tシャツ・バナーなどの制作物全般 サイト制作費 500,000円 ※一人工 10,000円×50日計算
使用料及び賃借料	100,000円	会場借上料 40,000円 物品車両賃借料 60,000円

合計	2,400,000円

一般社団法人 Regional Sports ご紹介資料

Regional Sports

1. 団体概要
2. メンバー紹介
3. ミッション・コンセプト
4. 事業内容

団体概要

【名称】一般社団法人 Regional Sports

【設立】2018年1月11日

【住所】神奈川県逗子市逗子1丁目6−27−402

【代表者】代表理事　加藤慶一（逗子市への移住者）

【公式サイト】http://regionalsports.jp/

【MAIL】info@regionalsports.jp

【事業内容】

・スポーツ&アクティビティに関するスクール、大会、イベント、セミナー等の企画・運営

・スポーツ&アクティビティを活用したコミュニティの創出、育成支援活動

・スポーツ&アクティビティに関するWEBサイトやSNSの運用及び書籍や広報誌の発行

・スポーツ&アクティビティを活用したマーケティング及びプロモーション支援活動

・スポーツ&アクティビティを活用した地域活性化支援活動

・スポーツ&アクティビティに関する人材の育成及び活用並びに資格授与

・スポーツ&アクティビティに関する調査研究

・スポーツ&アクティビティの体験を促進する物品提供・販売

・全各項に掲げる事業に附帯又は関連する事業

加藤 慶一（かとう けいいち）

一般社団法人Regional Sports 代表理事

1984年生まれ、鹿児島県出身。逗子在住。2007年慶應義塾大学環境情報学部卒。慶應義塾体育会水泳部競泳部門出身。

元慶應義塾大学非常勤講師（水泳実技）、大手フィットネスクラブインストラクターやスポーツイベント企画などのスポーツ事業から不動産、Webメディア事業まで、リアルとWeb両方からのマーケティングなどを中心に多数の業種を経験。また、ベンチャー企業での人事採用の経験もあり。

これまでの経験からスポーツを楽しんでいる人は「生命力に溢れている」ことに気づき、「スポーツ＆アクティビティのあるライフスタイルを提案し、一人ひとりがよりイキイキとした人生を歩めるお手伝いをする」をミッションに、個人をエンパワーメントすることで、様々な課題解決に繋げるための、事業開発や人材育成プログラム開発を行っている。

2019年に逗子に魅了され移住。逗子市を中心に「その地域の最大限の魅力を味わっていただくアクティビティ」の機会を提供できるプロジェクトを推進している。

メンバー紹介

小倉 健児（おぐら けんじ）

一般社団法人Regional Sports 理事

1984年生まれ、埼玉県出身。2007年成蹊大学経済学部経営学科卒。日立グループの専門商社で大手企業への営業を経験後、WEB・人材系ベンチャーへ転職。新規事業の立ち上げなど幅広く従事。その後「写真×IT」の上場会社を経て、現在はベンチャー企業の販路拡大を支援する会社で、コンサルタント業務に従事。組織統括のリーダーも務める。

「Regional Running」「マウンテンプロジェクト」のメインディレクターとして活動中。
自然豊かな逗子に魅了され、逗子の山や街をフィールドにしてアクティビティイベントを企画している。

その他メンバー

中野 雄介 ／ 理事、編集長

飯島 久美子 ／ スイムコーチ、ヨガ講師

正木 知佳 ／ PR

澤柳 匠 ／ 看護師

佐原 和真 ／ 管理栄養士

久永 拓也 ／ スイムコーチ

倉田 暁宏 ／ イベントディレクター

山下 陽裕 ／ プロトライアスリート

佐藤 健作 ／ コミュニティデザイナー

相馬 優一郎 ／ 総合旅行業務取扱管理者

菊田 力 ／ スイムコーチ

ミッション

スポーツ＆アクティビティのあるライフスタイルを提案し、一人ひとりがよりイキイキとした人生を歩めるお手伝いをする

体を動かすことは、人間本来の姿を取り戻す一つの方法であると考えています。人間本来の姿を取り戻せば、生きる力が高まります。これが、世の中のあらゆる課題を解決するキッカケになるのではないかと考えています。

チームコンセプト

「Regional = 境界線」を越えてスポーツ＆アクティビティの概念を変えていく

ミッションを目指し、スポーツ＆アクティビティを活用した様々な事業を展開していく上で、大切にしたいコンセプトを定めました。私たちは“複業”で関わるプロジェクトチームです。このチームコンセプトを基準として活動していきます。

事業内容

スポーツ＆アクティビティを活用した様々な事業を展開しています。

①コンテンツ開発・提案

・オリジナルスポーツコンテンツの開発
・企業とのタイアップスポーツコンテンツの企画運営
・ウォータースポーツメディアの運営
・トライアスロンスクールの運営
・スポーツ大会のプロデュース＆アドバイザー

②人材育成・活用支援

・スポーツイベントディレクター養成支援
・スポーツインストラクターの育成
・スポーツ選手のマネジメント支援

③地域活性化支援

・カフェなどでの空き時間を使用したスポーツイベント開催
・地方でのスポーツイベント／大会開催

事業テーマ

地域 × スポーツ＆アクティビティ

そこにしかないアクティビティをあなたに

街、海、山などの地域の最大の魅力は「そこにしかない土地や景観」だと考えており、それを活用したアクティビティイベントを開催し、または、既存のアクティビティイベントを広く知っていただくためのお手伝いをして、「交流人口」を増やし、地域の活性化に寄与していきたいと思っています。また、ここでいう「地域」とは、あらゆるコミュニティ、団体も含まれます。

事業テーマ

複業 × スポーツ＆アクティビティ

スポーツ＆アクティビティをする“場”を増やす

スポーツやアクティビティが好きな方はたくさんいます。そんな方たちがもっと“複業”としてスポーツ＆アクティビティに携わる機会が増えれば、スポーツ＆アクティビティをする、できる“場”が増えます。そして、その“場”が増えれば、スポーツ＆アクティビティをする人、楽しむ人が増えていくんじゃないか。そのために、スポーツ＆アクティビティを“複業”として携わる方を増やす支援をしております。

プロジェクト

かとすい

Mountain Project

Vita stile
Regional Running

OPEN
スペースアクティブ

【プロジェクト】かとすい

Regional Sports

かとすい

泳ぐ楽しさをもっとあなたに。

https://katoswimclub.jp/

①イベント、大会の企画運営

トライアスロン＆OWSを楽しんでいる方向けの“海”で泳ぐイベントや大会 かとすいウォータースポーツを開催。（南熱海オーシャンスイムミート、逗子オーシャンスイムスクール、熱海オーシャンスイム合宿　etc...）

②スクール運営

毎週土日に水泳を中心としたスクールを開催。その他に海での水泳レッスンや合宿なども開催中。登録会員数　約200名。（かとすいトライアスロンスイム小岩、熱海スイム合宿　etc...）

③コミュニティ運営

日本最大級の水泳の自主練習コミュニティ「スイム自主練習宣言！」を運営。現在約 1,200名のコミュニティになっている。

④メディア運営

ウォータースポーツメディア「かとすい」。スイムのノウハウやウォータースポーツに関するコラムなどを公開中。夏のシーズンには月間 15万PVになる。

逗子オーシャンスイムスクール

逗子海岸にて、トライアスロンやOWSを楽しむ方向けの「海」で泳ぐためのスクールを開催中。逗子で活動する地域事業者とタイアップし、海で泳ぐだけではなく、ウィンドサーフィンやスタンドアップパドルを楽しむ方向けの「泳ぐ」レッスンも企画しております。

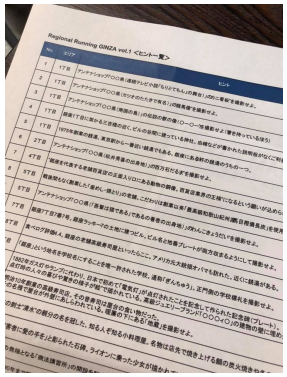
もっと「山」を味わい尽くそう！「Mountain Project」

トレイルラン、登山、キャンプ、絶景、稜線、ドボンなど山を全力で味わえるプロジェクト。プロジェクトの目的は「山を好きになってもらうこと」。トレイルランの大会出場からキャンプまで、そして、大会やイベントの企画運営まで、山を楽しむコミュニティを目指している。招待制のクローズドのコミュニティとして運営中。

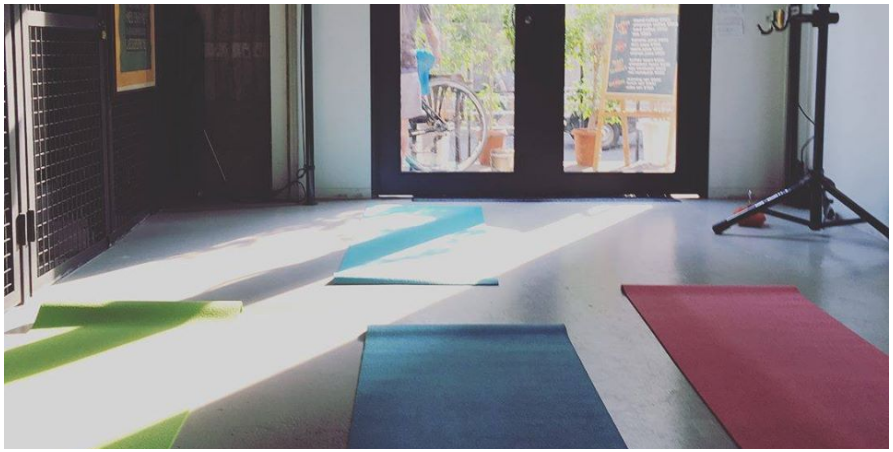
【プロジェクト】Regional Running

もっと「街」を楽しむランニングイベント「Regional Running」

その街のスポットに関する”ヒント”を頼りに、仲間と協力しながら制限時間内により多くのポイントを回る、ファンランアクティビティ。街の魅力を再発見でき、地元の方、自治体の方、初めて街に来た方など、あらゆる立場の方をごちゃ混ぜにした良質なコミュニケーションを醸成することが可能。チームビルディングにおすすめ。



2018年は「銀座」で2回、「築地」で2回開催。2019年は「小江戸川越」と「門前仲町」で開催。

遊休スペースの活用「スペースアクティブ」

街中を歩いていると、まだまだ有効活用できそうなスペースを発見することがあります。例えば、OPEN前の早朝のカフェやお休みの日など。いわゆる、遊休スペースと呼ばれる場所を活用して、スポーツ＆アクティビティをする“場”を創出しております。